

さくら



SAKURA

さくら第7号新春

平成18年1月7日発行

平成18年の新春を寿ぎ

院長 蜂谷 哲也



初春の仰ぐや清し寒さくら(慧星山房)

新年快樂 萬事如意

各位の皆様にはつつがなく新しき年をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。昨年は国の内外を問わず天変地異をはじめ社会的問題の多い一年でしたが、当さくらクリニックは、皆様のご理解と職員一同の協力により無事に過ごさせていただきました。心から御礼申し上げます。

去る2005年は日本の出生率が1.26と過去最低となり、死亡者数が出生数を上回り、日本全体の人口動態の面でも減少に転じた年でありました。日本の行く末を考えますと、労働人口の減少や年金制度などの諸問題に限らず、何事にも厳しい時代へと移り変わっております。特に小泉首相の行財政改革により本年4月からは、医療保険制度並びに介護保険制度の厳しい改変があります。今回の大幅な診療報酬の引き下げは、病院・クリニックにとっては医療経済上大変な難局に直面することになり、一方、患者さんをはじめとする受益者にとっても、本人負担率の増加や老人医療費の一律負担増額が決定されております。医療・介護・福祉は広い意味でのサービス事業であることは否定出来ませんが、しかし医療は「先ず、患者さんの治療・快癒ありき」であり、決して金銭価によって医療の質と量を決めていいものではありません。私たちはこのことを肝に銘じて、本年も知恵を絞り、より良い医療を実践すべく努めてまいりたいと思っております。

昨年、別組織である「クリニックさくら居宅介護支援事業所・同訪問介護ステーション」が設立されました。これを機に当院の患者さんや御家族のご家庭での介護についても連携して推進していく体制を整え、「ケアプラン作成」・「訪問介護」等の介護活動を通して、医療と介護の相互扶助を更に図りたいと思っております。すでに外来通院の患者さんをはじめ、近隣の方々からもご利用があり、さくらクリニックでの治療がご家庭での介護・保養によって、より一層効果的になるとの期待と希望をもっております。

本年も医療の本意に添うべく、クリニックのすべての面において見直しと再編を図っていきたくと思っております。今年もよろしく各位のご理解とご協力・ご教示をお願いいたしたく存じ上げます。

「新年快樂」、「萬事如意」は中国の新年の祝詞であります。寿ぎて、皆様の御自愛をお祈り申し上げます。

「はつはるの あおぐやすがし
かんさくら」

平成18年元旦



クリニック前庭のイルミネーション

目次:

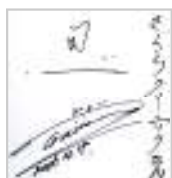
平成18年の新春を寿ぎ	1
さくら聖誕祭	2
お正月の飾りつけ	2
さくら腎友会より	3
深沢先生「ナイル」に寄せて	3
クリスマスイルミネーション	3
お知らせ	4
編集後記	4



さくら聖誕祭 クリスマスの夕べ



ジェリーさん父娘と
歌う子供たち



バルティータ・アンサンブルに
よるマンドリン&ギター演奏



お正月の飾りつけ

平成18年の新年を迎えて当クリニックの玄関ホールには、新春にふさわしい飾りつけがされました。戸田栄養部長手製の大門松が正面に据えられ、その周りには音に反応して踊り出す獅子舞人形が大小二対置されました。この獅子舞は、人が入ってくる気配を感じると独りでに「めでたい、めでたい」という声と共に「お神楽の笛音」が鳴る仕掛けになっており、来院者の「わあ、おもしろい！」「びっくりしたあー！」という感嘆の叫びがあちこちで聞かれ演出満点でした。また、吹き抜けホール上部には大きな七福神の絵柄鮮やかな「寿鳳」を中心に、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康・上杉謙信・武田信玄など、お馴染みの「武者錦鳳」が所狭しと飾られました。またその周囲には、中国北京の絵画院で求めた「百鯉寿」の掛け軸や北京和平里病院・張明院長からクリニックに贈られた「友誼長存」の掛け軸も展覧されました。壁面の中段には「辻が花染めの富士山」、その両側には金色の「百福」「百寿」の染字額も掛けられました。加えて、患者さんから頂いた胡蝶蘭の鉢や、職員によって活けられた水盤麗しき正月生花が二盆と、挿花も披露され、例年にもまして見事な新年のお飾りとなりました。



12月17日土曜日、午後4時から「さくら聖誕祭」がクリニック・ロイヤルホールで催されました。今回で二回目を迎えるこの集いも一年のフィナーレを飾る催し物として患者さん・御家族・従業員に今回も大好評でした。ホール南面には舞台がしつらえ、真中に3mものクリスマスケーキ、両側に大クリスマスツリー、ホール天空には大サンタクロースとスノーマンのバルーンが吊られ用意万端、「熱烈歓迎」のもとに集まった皆さんは200名を超え、子供さんも40人を数えました。「さくら腎友会・瀬戸会長」と「さくら吹雪の会・栗林会長」の開会の辞、シャンパンでの乾杯に続いて「バルティータ・アンサンブル」の皆さん総勢10人のメンバーによるマンドリンとギターの演奏で始まりました。クリスマスメドレー他10曲もの曲が演奏され、万来の拍手に沸きました。もちろん出店も用意され、「やきそば・チキンスティック・冬至おしるこ・わたあめ・さくらカレーライス・クリスマスケーキ」が用意されました。藍瑞希ちゃん・紗彩ちゃんの「あわてんぼうのサンタクロース」、鶴川久子さんの「女船」、高橋悦子さんの「マディソン郡の恋」が歌唱され、定番の久保隆洋さんによる奇術、大野昇さん主宰の「よつかいどうでござる社中」のおかめ・ひょつとこ踊りなど、座興は盛り上がりました。キャンドルサービス・クリスマスケーキ入刀に続いて、皆さんお待ちかねのブリリアントコンサートになりました。スペシャルゲストとして「ジェリー藤尾さんと甲斐美貴さん父娘」にボランティア出演していただきました。ジェリーさんと美貴さんの絶妙な話術を交えての「ライブ」はロイヤルホールはもとより2階の観覧席まで大入り・鈴なり・立錫の余地も無いほどの盛況で、ジェリーさんのヒット曲「遠くへ行きたい」はもちろん、「ゴッドファーザーのテーマ」や美貴さんの「アメージング・グレース」の歌に、『さすがはプロだなあ』『迫力があるなあ』と聞き入る全員がしばし感嘆の声をあげておりました。中でも患者さんのYさんは舞台上上がり、ジェリーさんと握手をして、その手をしばらく離さないなど満座の拍手に包まれました。そしてサンタクロースの登場とともに「さくら吹雪の歌」(サライ改題)の大合唱となり、「一家一品」の抽選、子供一人一人に「希望したプレゼント」が渡され、フィナーレには参会者一人一人に素敵な「ペアのクリスマスソックス」が贈られました。そして帰りがけにはクリニック前庭に輝く数々の綺麗なイルミネーションを楽しみながらの散会となりました。

さくら腎友会より

会計報告会・新年会のお知らせ



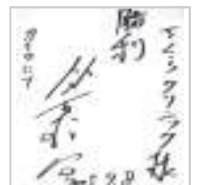
日時：平成18年1月29日(日曜日) 12:00 ~
 場所：アクアユカリ
 会費：会員及びスタッフ 3,000円 (子供 500円)
 送迎：バスあり 11:00 クリニック発

1日入浴可能です。
 ボーリング大会も予定していますので、皆様のご参加をお待ちしています。

※ 申込み期限は1月20日(金曜日)です。

深沢先生の「ナイル」に寄せて

当さくらクリニック顧問の深沢規夫先生は、平成17年9月7日から13日までエジプト・カイロ市で開催された第12回世界柔道選手権大会に際して、独占放映を担当したフジテレビ局の特別派遣医師として、エジプトに出張されました。先生は出場選手や取材スタッフの健康管理にあたり、日本選手は適切な先生の体調管理にも助けられ、各選手が期待通りの良い結果を残しました。深沢先生は、今回もさくらクリニックの患者さんの為にと「重量級優勝者の鈴木恵司選手」からの激励の色紙をもらって下さいました。また写真にあるように、先生は駐エジプト日本大使の主催による歓迎レセプションの席上、先年のロサンゼルスオリンピック無差別級の決勝で戦い、見事優勝を収めた山下選手(現東海大学教授)とその時の好敵手・エジプト代表のラシュワン選手とも親しく懇談し、さくらクリニックの患者さんにも励ましの声援をことづかったとのことです。



年末年始イルミネーション

師走に入り、広いクリニック前庭を使って恒例のイルミネーションが用意されました。今年はいつものケヤキの大木の枝に5000個のクリアライトが点灯され、更に今回は職員総出で作り上げた「さくらタワー」もお目見えしました。そしてその際を流れるようにして、目の丸をかたちどった紅と白のネットライトから流れ出る天の川をイメージした電飾が展開されました。ロータリーの大樹や池の周りにも電飾やスノーマン・サンタクロースをモチーフにした灯りが灯されました。天の川を渡るがごとく4頭のトナカイに引かれたソリにのるサンタクロースも登場しました。今回はクリアライトに加えて青・白・緑のLEDライトも数多く加わり、新たな年末年始の景観となりました。隣近所の方々にも楽しんでいただけたことと思います。



クリニックからのお知らせ

●さくら節分会「石狩鍋の夕べ」へのお誘い

来る2月2日(木)午後4時より6時まで、当クリニック2Fホールで恒例の節分会を催します。赤鬼・青鬼のもと、豆まきと北海道より取り寄せた鮭で今年の福を呼び、災いを吹き飛ばしましょう。お子様・ご家族揃って、どうぞおいでください。

●歳末助け合い募金にご協力ありがとうございました。

皆様のご芳志は合計18,800円となりました。全額NHKを通じて寄付させて頂きました。



●診療時間

月水金 7:30~22:00
火木土 7:30~16:00

●医師担当表

	月	火	水	木	金	土
I	蜂谷鈴木	蜂谷鈴木	蜂谷鈴木	蜂谷	蜂谷	蜂谷鈴木 深沢
II	蜂谷鈴木	蜂谷鈴木	蜂谷鈴木	蜂谷	蜂谷	蜂谷鈴木 田中
III	蜂谷鈴木		蜂谷鈴木		蜂谷	

編集後記

百
鯉
福
寿
図



新年あけましておめでとうございます。

昨年暮れの12月17日(土)に行われた「さくらクリニック聖誕祭」には年末のお忙しい時期にもかかわらず、ジェリー藤尾さん父娘にボランティア出演していただき、白眉の催しとなりました。外来及び入院患者さんや、ご家族の皆さん・近隣の方々より「本当に楽しかった」「また来年も開催して下さいね」等のお言葉をいただき、スタッフ一同大変嬉しく感じております。皆様のご協力・ご参会ありがとうございました。

さて、さくらクリニック広報誌も新年の平成18年を迎え、第7号となりました。本年も当誌を通じて患者さんとそのご家族、そしてスタッフ一同とで情報の共有と心の交流の一端を担うことが出来ればと思っております。本年も宜しくご指導をお願い申し上げます。

発行：医療情報室

編集部員：橋本 和政

三澤 道夫

粟飯原成一

横田 光司

額賀 裕子

鎌田美穂子

さくらクリニック

腎臓内科・一般内科・外科・在宅訪問診療

人工透析(HD・HDF・CAPD)

生活習慣病相談・リハビリテーション訓練

外来透析65床・入院応需19床

〒284-0001

千葉県四街道市大日593-1

電話 043(424)1211

FAX 043(424)1007

顧問 医学博士 深沢 規夫

院長 医学博士 蜂谷 哲也

診療部長 鈴木 俊彦